



毎月19日は「育児の日」/毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 子どもは失敗するのが当たり前

年齢が小さければ小さいほど失敗を繰り返します。子どもは失敗をするのが当たり前なのです。初めて見るもの、さわるものについて、経験がない分だけどうしたらよいか分かりません。そのため、大人よりも多くの失敗をします。子どもは、失敗から学びます。痛い思いをして、次に同じ過ちを繰り返さないよう考え工夫します。こうして蓄積された経験から、良い判断がくだされるようになるのです。

大人は、子どもよりも経験が多いので、失敗をする前に察知することができます。だから、子どもたちが失敗しないようにと事前に助け船を出してしまいがちです。そうすると、子どもは失敗しないために考えたり、工夫したりする経験が奪われてしまいます。そして、失敗から立ち直るといった経験を積みなくなってしまいます。



### 失敗が子どもをのばす！！

最近、やる前から「できないもん。」と言ったり、「無理だ。」と言ったりする「にちなんっ子」が多くなりました。大人が事前にルールをひいてしまっていることが一つの要因ではないかと思えます。そのことによって、子どもたちは、最初から成功しなければならないものと考えたり、失敗したら笑われる、失敗したら怒られると思ったりしているのではないのでしょうか。

子どもに必要なのは、成功体験ではなく、「失敗する体験」です。大きな事故につながったり、他の人に迷惑をかけてしまったりするような失敗は、最初からやめさせなくてはなりません。子どもが転んですりむいたり、うまくできなくて悔しがったりする失敗は大いにさせなくてはなりません。失敗することによって、同じ失敗を繰り返さないように考え、工夫するようになるからです。

### 子どもの失敗は寛大な心で！！

子どもの失敗を怒鳴るのが、親の仕事ではありません。失敗を寛大な心を持って、許してあげることが親としてのつとめです。子どもにはたくさんの経験を積んでもらい、失敗しても親はしからず、許してあげることが、子どもを成長させるポイントです。

親は、子どもが挑戦しようとしたこと、がんばろうとしたことをまずは認め、ほめてください。失敗してくじけても、大人がやろうとしたことを認めてくれれば、失敗したことに対して「次こそは失敗しないぞ。」と向かっていくことができるのです。

そのために、結果を評価しないで、取り組みの過程をほめてあげましょう。また、失敗したら「こうしてみたら？」とアドバイスするのもよいことです。「失敗は成功のもと」といいます。子どもの失敗に対して寛大な心で見守りましょう。



### 子育て名言・格言

考える術を教えるべきで、考えたことを教えるべきではない。

グルリットの言葉